☑ 標準塗装仕様

ガードシールHL (鉄鋼構造物)

工程	商品名	色相	標準使用量(kg/m³/回)	標準膜厚 (μm/回)	施工方法	施工間隔 (20℃)
素地調整	海藻類・貝類の付着が多い場合は、スクレーパー等でかきおとす。 ブラスト処理((ISO-Sa2):さび・旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。 圧着施工前にマジックロン等で戻りさび・海中微生物等を除去する。					
圧着施工	ガードシールHL	グレー ブルー	12	5000	ハンド工法 (手で圧着)	16時間~ 5日

ガードシールZ (鉄鋼構造物)

工程	商品名	色相	標準使用量 (kg/m³/回)	標準膜厚 (μm/回)	施工方法	施工間隔 (20℃)
素地調整	海藻類・貝類の付着が多い場合は、スクレーバー等でかきおとす。 ブラスト処理 (ISO-Sa2) 又は動力工具処理 (ISO-St3) にて、さびおよび劣化塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。 その他活膜部表面はブラスト又は動力工具で目粗し処理を行う。 塗布前にはマジックロン等で戻りさび・海中微生物等を除去する。					
上塗り	ガードシールZ	グレー ブルー	1	500	刷毛・ローラー ヘラ	16時間~ 7日

ガードシールLP (コンクリート構造物)

工 程	商品名	色相	標準使用量(kg/m³/回)	標準膜厚 (μm/回)	施工方法	施工間隔 (20℃)
素地調整	動力工具処理、サンドブラスト処理:下地コンクリートの浮き・脆弱部・レイタンス・油類等は除去して下さい。 露出鉄筋部分はさびを落とし、防錆材などによる防錆処理を行います。 コンクリート欠損部に関しては、協議の上、適切に処理を行って下さい。					
上塗り	ガードシールLP	グレー ブルー	1	500	ローラー ヘラ・コテ	16時間~ 7日

ガードシールLP (コンクリート構造物 大気部、干満部 (湿潤コンクリート)) 適用規格:東京埠頭公社 大井埠頭桟橋劣化調査・補修ーマニュアルー(2000年3月)

工 程	商品名	色相	標準使用量(kg/m³/回)	標準膜厚 (μm/回)	施工方法	施工間隔 (20℃)	
素地調整1	表面の海洋生物、その他の異物をスクレーパー等で除去する。						
素地調整2	表面の脆弱層やその他の異物、突起物や段差等はサンドブラスト、パワーツール等の動力工具や手工具を併用して平滑にする。 全表面を処理した後、ブラシ、ホウキ、エアーブロー等で被塗面を十分に清掃する。						
1 層 目	ガードシールLP	グレー ブルー	1.0	(500)	ローラー ヘラ・コテ	16時間~ 7日	
2 層 目	ガードシールLP	グレー ブルー	1.0	500	ローラー ヘラ	_	

■施工上の注意

【素地調整に関する注意】

<鋼構造物(ガードシールHL、ガードシールZ)>

- ①水中硬化形材料を施工する場合、素地調整は、陸上での塗装と同様に塗膜の耐久性に強く影響を及ぼすため、 最も重要なポイントとなりますので、必ず実施して下さい
- 最も重要なが「とてなりないというかくた。 ②素地調整の不具合は、材料のはく離・膨れなどの欠陥を生じ、結果的に構造物が劣化し、再度施工を行うなどの問題となる場合がありますので、素地調整は十分に行って下さい。
- ③干満帯・海中部は一般的に、海中生物(貝類・藻類)が付着しているため、この様な場合は、チッパー(スクレーパー)やグラ インダー(サンダー)などにて付着物・さびを予め除去(第1次ケレン)した後、ブラスト処理(第2次ケレン)を行って下さい。

<コンクリート構造物(ガードシールLP)>

- ・コンクリート表面の海中生物・粉化物・煤・油脂・その他の塵埃や異物などを除去し、塗膜の接着に適した素地状態
- ・突起物や段差などは、動力工具や手工具を併用して平滑にして下さい。
- ・ 塗装可能な状態は、乾燥したコンクリートまたは湿潤したコンクリートです。湿潤の程度は、コンクリート表面が濡れ色になっている状態を指します。明らかに水に濡れている状態(コンクリート表面に水滴が認める状態又は施工時に常に水の影響を受けるような状態)の場合は、水の供給を遮断し、送風機やウエスなどを用いて、予め表面の水滴が無 くなるまで乾燥させて、塗布工を実施して下さい。

【塗装上の注意】

<ガードシールZ、ガードシールLP>

- ①使用時には、主剤と硬化剤を規定の割合に秤量し、均一な色になるまで必ず混合して下さい。
- ②可使時間が過ぎた場合、接着不良を生じますのでご注意下さい。混合量は、施工工程を考慮して最低必要量を混合して下さい。
- ③シンナーは、洗浄以外の使用は厳禁です。塗布する塗料に混入した場合、硬化不良が発生します。 ④施工環境温度は5℃以上 望ましくは10℃以上を厳字して下さい。
- ⑤干満帯において、塗膜が硬化する前に没水環境となる場合には、波浪等物理的外力を受けない養生が必要となります。 <ガードシールHL>

①使用時には、主剤と硬化剤を規定の割合に秤量し、均一な色になるまで必ず混合して下さい。

- ②被塗物の間に水や空気が入らないように、手のひらで圧着して下さい。
- ③可使時間が過ぎた場合、接着不良を生じますのでご注意下さい。混合量は、施工工程を考慮して最低必要量を混合して下さい。

■ 使用上の注意

引火性の液体で、危険有害情報のある物質を含有していますので、取扱 いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

- 1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- 3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖 の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- 4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。 5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけて おいて下さい。
- 6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。 9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下

事故の危険があります。

- ●緊急時の処置 1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。 4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化
- 等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。 5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を
- 6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。 ※本カタログの記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。 ※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社

東京営業所 ☎03-5710-4501 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル) 札幌営業所 ☎011-822-1661 〒003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1

仙台営業所 ☎022-288-8866 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル) 北関東営業所 ☎0480-26-5111 電346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1-5-18 (辻屋ビル) 新潟営業所 ☎025-244-7890 〒950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)

千葉営業所 ☎043-225-1721 〒260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル) 神奈川営業所 ☎042-786-1831 〒 252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)

静岡営業所 ☎054-254-5341 〒420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

※本カタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

大阪営業所 ☎06-6266-3116 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11(SRビル長堀) 名古屋営業所 ☎052-332-1701 〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)

富山営業所 ☎076-444-5260 〒930-0005 富山県富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル) 京滋営業所 ☎075-595-7761 〒607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (京都山科ビル) 姫路出張所 ☎079-226-5727 〒670-0965 兵庫県姫路市東延末1-1 (姫路NKビル)

岡山営業所 ☎086-214-1852 〒700-0034 岡山市北区高柳東町10-30 広島営業所 ☎082-286-2811 〒732-0802 広島市南区大州3-4-1

高松営業所 ☎087-869-2585 〒761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビルI) 福岡営業所 ☎092-938-8222 〒811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

2024HP-PDF E-7849.21.9@(EL) (13.9)



海洋・河川施設の鉄・コンクリートを長期防食する

環境対応形防食材料

海洋施設や河川施設の構造物は、一般の陸上構造物とは異なり、

水中部、湿潤面(飛沫帯・干満帯)などが混在した厳しい腐食環境下におかれる事が多いため、

そのまま放置していると腐食は著しく進み、強度低下・倒壊へと至る心配があります。

そこで、海洋・河川施設などの厳しい腐食環境下において、防食塗覆材として長期耐久性に優れた防食性能を有し、

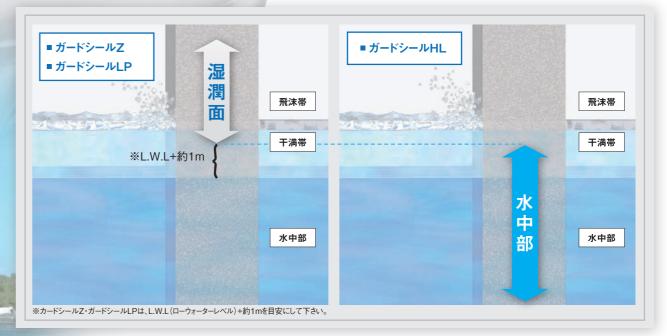
且つ水質に影響を与えない(重金属フリー)環境対応形防食材料「ガードシールシリーズ」として商品ラインナップを

充実させました。



商品名	塗料タイプ	荷姿	色相	材質	適用区分	施工方法	膜厚 (µm/回)
水中硬化形エポキシ樹脂塗料 (水中鋼材面用) ガードシールHL	夏用(20℃以上) 冬用(20℃以下)	20kgセット (主剤10kg/硬化剤10kg)	グレーブルー	鉄	水中部 (干満帯・海中部)	ハンド工法 (手で圧着)	5000
水中硬化形エポキシ樹脂塗料 (湿潤鋼材面用) ガードシールZ	_	5kgセット (主剤2.5kg/硬化剤2.5kg) 10kgセット (主剤5kg/硬化剤5kg)	グレー ブルー	鉄	湿潤面 (飛沫帯・干満帯)	刷毛・ローラー ヘラ	500
水中硬化形エポキシ樹脂塗料 (湿潤コンクリート面用) ガードシールLP	_	5kgセット (主剤2.5kg/硬化剤2.5kg) 10kgセット (主剤5kg/硬化剤5kg)	グレー ブルー	コンクリート	湿潤面 (飛沫帯・干満帯)	ローラー ヘラ・コテ	500

☑ 適用区分



☑ 施工方法





☑ 施工手順例













エアー工具による海生物と 浮きさびの除去作業



水中サンドブラスト作業

被塗物の海藻類・貝類・浮きさびを除去したのち、 サンドブラスト処理(処理グレード:ISO-Sa2以上)を行う。

4 施工前(マジックロン処理)



海生物などを除去するため、マジックロン処理を

5 ガードシールの混合











混合後

6 施工



気中部圧着作業



水中部圧着作業 を含まないように注意し ながら手のひらで圧着 し、平均5mm厚みに塗り





主剤と硬化剤を規定の割合に秤量し、均一な色になるまで必ず混合して下さい。



主剤















※上記はガードシールHLの色相写真例です。
※各色の色は印刷物のため、実際の色とは異なる場合があります。

7 施工完了

ブルー

ガードシールHL







ガードシールHL(水中鋼材面用)

- 特 長 1.水中施工が可能です。
 - 2. 接着性・圧着作業性が良好です。
 - 3. 鋼矢板・鋼管杭などの形状による制約を受けません。
 - 4. 無溶剤タイプのため、安全性に優れています。
 - 5. 耐水・耐海水性に優れています。

全料性状

項目		内 容			
容姿		二液性			
荷姿		20kgセット(3	主剤10kg、硬化	比剤10kg)	
色相		グレー・ブルー	-		
外観		パテ状			
ちょう度	夏型	主剤:160、硬化剤:220			
(23°C)	冬 型	主剤:220、硬化剤:260			
加熱残分		100%(理論値)			
+4.10.4.00	温度	10℃	20°C	30℃	
乾燥時間 初期硬化	夏型	_	5時間	3時間	
[万利]民门	冬 型	12時間	5時間	_	
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界		SDS参照			

注)上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

▼ 塗装基準

1 主义工十						
	項目		内 容			
下均	地 処理		ブラスト処理(60-Sa2以上)	
混合	比率		主剤:50部、	硬化剤:50部	(重量比)	
		温度	10℃	20°C	30℃	
可信	時間	夏型	_	30分	15分	
		冬型	60分	30分	_	
洗浄用シンナー			エポニックスシンナーB			
	塗装方	法	ハンド工法(手で圧着)			
涂	希釈率	<u> </u>	希釈しないこと(原液のまま使用)			
塗装法	標準使	用量	12kg/㎡/回			
法	標準膜	厚	5000µm/回			
	ウエット管	管理膜厚	5000μm	5000μm		
	温度		10℃	20°C	30°C	
塗装	制隔	最小	24時間	16時間	12時間	
最力		最大	7日	5日	3日	
注)煙>						

注)標準使用量は、従来の実績値に基づき算出しています。

試験項目		試験方法	結果	
拉美州	鋼板	建研式	乾燥面 1.47N/m㎡以上	
接着性 	ച 門 7/X	(サンドブラスト板)	3%食塩水中面 0.98N/m㎡以上	
引張せん断接着強度		JIS K 6850 (軟鋼板-軟鋼板)	7.84N/mm ³ 以上	
圧縮強度		JIS K 6911	39.2N/mm [#] 以上	
曲強度		JIS K 6911	19.6N/mm [*] 以上	
引張強度		JIS K 7113	9.8N/mm以上	
衝撃強度		JIS K 5600-5-3 デュポン式1/2"500g 500㎝	合格	
硬度		ASTMD 2240	65以上	
塩水噴霧	式験	5000時間	異常なし	
温度差勾置	記試験	45℃-20℃ 100日間	異常なし	
3%食塩水浸漬		3年(20℃)	異常なし	
水道水浸泡	責	3年(20℃)	異常なし	

[※]本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。 記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

	主剤	硬化剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	_	_
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	_	_



ガードシールZ(湿潤鋼材面用)

- 特 長 1.湿潤面での、付着性が良好です。
 - 2. 刷毛・ローラー、ヘラによる作業性が良く、複雑な形状の構造物にも対応できます。
 - 3. 1回塗りで500µm以上の膜厚が得られます。
 - 4.無溶剤タイプのため、安全性に優れています。
 - 5. 耐水・耐海水性に優れています。

全料性状

項目			内 容				
容姿			二液性				
荷姿			5kgセット(主	剤2.5kg、硬化	剤2.5kg)		
仰安 			10kgセット(Ξ	注剤5kg、硬化	削5kg)		
色相			グレー・ブルー	-			
密度(23℃)		1.45					
粘度(23℃)		30Pa·s					
加熱残分			98%(理論値)				
	温	度	10℃	20°C	30°C		
乾燥時間	指	触	10時間	5時間	4時間		
	半码	更化	24時間	16時間	12時間		
引火点		SDS参照					
発火点		SDS参照					
爆発限界			SDS参照				

注)上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

全装基準

	項目		内 容			
下均	也処理		ブラスト処理 (ISO-Sa2以上) 動力工具処理 (ISO-St3)			
混合	比率		主剤:50部、	硬化剤:50部	(重量比)	
	時間		10℃	20°C	30℃	
1 13	と时间		60分	45分	20分	
洗汽	角用シンプ	+ –	エポニックスシンナーB			
	塗装方法		刷毛・ローラー、ヘラ			
涂	希釈率	<u> </u>	希釈しないこと(原液のまま使用)			
塗装法	標準使	用量	1kg/m²/回			
法	標準膜	厚	500μm/回			
	ウエット管	管理膜厚	500μm			
		温度	10℃	20°C	30°C	
塗装	塗装間隔		24時間	16時間	12時間	
		最大	7日	7日	7日	

注)標準使用量は、従来の実績値に基づき算出しています。

塗膜性能

試験項	頁目	試験方法	結果	
接着性	錙板	建研式	乾燥面 1.5N/m㎡以上	
按周注	郵 門 77又	(サンドブラスト板)	3%食塩水中面 1.2N/m㎡以上	
引張せん断接着強度		JIS K 6850 (軟鋼板-軟鋼板)	10N/mm [*] 以上	
引張強度		JIS K 7113	10N/mm [#] 以上	
伸び率		JIS K 7113	5%	
硬度		ASTMD 2240	75以上	
耐衝撃性		JIS K 5600-5-3 デュポン式1/2"-500g 50cm	合格	
塩水噴霧	式験	1000時間	異常なし	
冷熱サイクル試験		(60°C×6H-0°C×6H) /1サイクル 50サイクル	異常なし	
3%食塩水浸漬		1年(20℃)	異常なし	
水道水浸液	責	1年(20℃)	異常なし	

[※]本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。 記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

| 関連法規

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第3石油類	第4類第3石油類
有機溶剤区分	_	_
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	_	_



ガードシールLP(湿潤コンクリート面用)

- 特 長 1.湿潤面での、付着が良好です。
 - 2. ヘラ・コテによる作業性が良く、複雑な形状の構造物にも対応できます。
 - 3. 1回塗りで500µm以上の膜厚が得られます。
 - 4.無溶剤タイプのため、安全性に優れています。
 - 5. 耐水・耐海水性に優れています。

□ 塗料性状

上 生 村					
項目		内 容			
容姿		二液性			
荷姿		5kgセット(主剤2.5kg、硬化剤2.5kg)			
		10kgセット(主剤5kg、硬化剤5kg)			
色相		グレー・ブルー			
密度(23℃)		1.70			
粘度(23℃)		80Pa·s			
加熱残分		99%(理論値)			
乾燥時間	温	度	10℃	20°C	30℃
	指	触	7時間	4時間	3時間
	半码	更化	24時間	16時間	12時間
引火点			SDS参照		
発火点			SDS参照		
爆発限界			SDS参照		

注)上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

□ 塗装基準

項目		内 容			
下地処理		ブラスト処理(ISO-Sa2以上) 動力工具処理(ISO-St3)			
混合比率		主剤:50部、硬化剤:50部(重量比)			
可使時間		10℃	20°C	30°C	
		60分	45分	20分	
洗浄用シンナー		エポニックスシンナーB			
	塗装方	法	ローラー、ヘラ・コテ		
希釈率 装 標準使 法 標準時		<u> </u>	希釈しないこと(原液のまま使用)		
		用量	1kg/㎡/回		
法	標準膜厚		500μm/回		
	ウエット管理膜厚		500μm		
塗装間隔 遺		温度	10℃	20°C	30℃
		最 小	24時間	16時間	12時間
		最大	7日	7日	7日

注)標準使用量は、従来の実績値に基づき算出しています。

☑ 塗膜性能

試験項目		試験方法	結果	
坟差州	** コンクリート	建研式	乾燥面 1.5N/m㎡以上	
接着性 			3%食塩水中面 1.2N/m㎡以上	
引張強度		JIS K 7113	10N/mm [®] 以上	
伸び率		JIS K 7113	1.5%	
曲げ強度		JIS K 6911	30N/mm [®] 以上	
硬度		ASTMD2240	75以上	
耐衝撃性		JIS K 5600-5-3 デュポン式1/2"-500g 50cm	合格	
耐摩耗性		JIS K 7204 CS-17 1kg 1,000回転	230mg	
塩水噴霧試験		1000時間	異常なし	
冷熱サイクル試験		(60°C×6H-0°C×6H) /1サイクル 50サイクル	異常なし	
3%食塩水浸漬		1年(20℃)	異常なし	
水道水浸漬		1年(20℃)	異常なし	

[※]コンクリート破壊

□ 関連法規

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第3石油類	指定可燃物
有機溶剤区分	_	_
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	_	_



[※]本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。 記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。